

野田淳子魂の歌コンサート

2017. 11. 25

りとるぶれいハウス

PROGRAM 1部

すべてがおくりもの (作曲 ザカール 作詞 夕暮今) 悲しみのソレアードが原曲。命を得た喜びの歌

<金子みすゞ作品より> 作曲 野田淳子

- 大漁 戦いのむなしさ、命を奪われたものの悲しみを歌う。
こころ 深い母の愛の歌。
星とたんぼぼ いろいろな事件、出来事は皆理由があるのに、見えていることで判断してしまう
恐ろしさ、悲しさが伝わってくる。
私と小鳥とすすと 「すすと小鳥とそれから私、みんな違ってみんないい」の言葉、いじめの無くならな
い学校の教科書に何度もとりあげられている詩。

小さき魂へ (作 野田淳子) 関西で実際に起こった児童虐待死亡事件をもとに創った歌。施設に預け
られた少年が、母のもとに帰されるとき、帰りたくなくて涙を流しながら荷物を
まとめていたとの報道を聞いた。

歩き続けて (作 中島光一) 「人はただ生きればいい」の歌詞に、毎日必死で頑張っていた女子生徒が
優しくされたみたいで、涙が止まらなかったと話してくれた。

PROGRAM 2部

あなたが夜明けを告げる子どもたち (作曲 細田登 作詞 笠木透) 「あなたの命より偉大なものは何も
ないんだ、この地上には」と呼びかける歌詞に命の重みを感じる。

さくら (作曲 中島光一 作詞 しみずてるこ) 目が見えない娘に「手のひらでしっかり見るんだよ」と
呼びかける母。どんな障害があっても、大切な命が生きてゆける世の中であって
欲しいと思う。

山茶花 (作 登伸身) 寒い冬に咲く花、辛い心を励ますような歌。

庭の千草 (アイルランド民謡。作詞 里見義) 原詩はバラを歌っているが、日本では菊に代わっている。

故郷 (作曲 岡野貞一 作詞 高野辰之) 唱歌で唯一歌詞が変化していない曲。

死んだ男の残したものは (作曲 武満徹 作詞 谷川俊太郎) 今生きる私達に出来ることは何かと問いかける。

鶴 (作曲 Yフレンケリ 作詞 Rガムザトフ 訳詩 ウサミナオキ) ソ連時代に広島原爆資料館を訪れた
詩人が作詞、後に曲がつけられた。

千羽鶴 (作 野田淳子) 1977.9.27 横浜で起きた事件をもとに野田が創る。

大きな歌 中島光一が学生時代に創った曲。知らない間に一人歩きしていた。



みんなで歌いましょう

故郷（ふるさと）

兔追いしかの山
夢は今もめぐりて

小鮒釣りしかの川
忘れがたきふるさと

如何にいます 父母
雨に風につけても

つつがなしや友がき
思い出ずるふるさと

志を果たして
山は青きふるさと

いつの日にか帰らん
水は清きふるさと

大きな歌

- 1 大きな歌だよ あの子の向こうから 聞こえてくるだろう大きな歌だよ
- 2 大きな空だよ お日様が笑ってる 僕らを見つめる 大きな空だよ
- 3 大きな夢だよ この僕のこの胸に いっぱい広がる 大きな夢だよ
- 4 大きな心だよ 自由を求める 幸せ願う 大きな心だよ
- 5 大きな力だよ 働く力は 明日を動かす 大きな力だよ
- 6 大きな道だよ 本当の道は 平和に続く 大きな道だよ
- 7 大きな俺たちよ 雨風吹こうと おそれほしない 大きな俺たちさ